

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： がん温熱療法における温度上昇に関する因子の解明

### 研究の目的

がん温熱療法は、がん細胞が正常細胞に比べて熱に弱いという特性を利用した治療法です。高周波(RF: radiofrequency)を熱源として、腫瘍を 42.5 以上に加温することにより、がん細胞のみを死滅させることができるため、近年注目されています。しかし、温度上昇の程度は個々の症例によって差があり、温度上昇に関する因子については明らかではありません。そこで、本研究では、過去にがん温熱療法を実施した症例のうち、温度測定を行った症例の測温方法、最高・最低温度、RF の最高出力、身長、体重、BMI、皮下脂肪量、治療体位、体厚、疼痛の有無などのデータを電子カルテから後方視的に収集し、温度上昇に関する因子を明らかにすることを目的に研究を行います。

温度上昇に関する因子を明らかにすることにより、今後のがん温熱療法における良好な加温に寄与することは、治療効果の改善に直結する可能性があり、臨床的に意義があると考えます。

研究実施期間： 実施許可日~2025 年 3 月 31 日

対象となる方： 2021 年 9 月 7 日から 2024 年 10 月 31 日までの期間に、当院放射線治療科を受診し、がん温熱療法を受けた患者さんのうち、温度測定を行ったのべ 69 例。

### 利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院のカルテに記録されている情報のうち、温度測定を行った症例の測温方法、測温方法、最高・最低温度、RF の最高出力、身長、体重、BMI、皮下脂肪量、治療体位、体厚、疼痛の有無などのデータについて、標記研究のために利用します。

具体的に上記のデータを、統計解析的手法を用いて比較することで、がん温熱療法の温度上昇に関する因子を明らかにしたいと思います。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除

外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

|       |                           |
|-------|---------------------------|
| 本件連絡先 | 放射線治療科・青木 昌彦 0172-33-5111 |
|-------|---------------------------|